



「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」 活動報告(平成22年度 NO.1)



1. 第19回総会

6月5日(土)、富山市の富山第一ホテルで、「第19回総会」を開催しました。[会員349名中、121名参加]

冒頭、あいさつに立った高澤会長は、「地球温暖化を防止するためには、無駄なエネルギーを減らし、二酸化炭素の排出削減をすすめていくことが大切。先般発表された国のエネルギー基本計画の骨子では、『発電時に二酸化炭素を排出しない原子力発電の増設や、家庭において省エネ効果の高い家電・照明などの普及により、暮らしの中で発生する二酸化炭素の削減を目指す』としている。私たちもライフスタイルのあり方を見直し、その輪を広げていくことが大切。今後とも、研修会や見学会などを通して、21世紀の環境問題とエネルギーの今と未来について、楽しみながら理解を深めていきましょう」と、会の活動に対する理解と重要性を呼びかけました。

引き続き、平成22年度の活動計画案などについて議事が行われ、承認されました。



高澤会長ごあいさつ

2. エネルギー環境講演会

同じく、6月5日(土)、富山市の富山第一ホテルで、「エネルギー環境講演会」を開催しました。講師には、スポーツプロデューサーの三屋裕子さんをお招きし「三屋裕子のエネルギーエッセンス～毎日いきいき過ごすには～」と題してお話いただきました。三屋さんから、「環境も運動も『できる、できない』ではなく、『やるか、やらないか』である」とのメッセージが送られ、会員および一般からの参加者約300名は、環境も健康も自分から一歩ずつ取り組んでいくことの大切さを学びました。



楽しくわかりやすい講演をされた三屋裕子さん



参加者と一緒に体操も

★★VOICE★★ ～講演会に参加された方の声～

- 試合の時の厳しい表情とは違い、笑顔が素敵でした。内容もはっきりとわかりやすかったです。
- 毎日の生活の中でエネルギーや環境問題について考えていきたいと思います。
- 「運動は健康になるためだけでなく、夢をかなえるため」という言葉に感動しました。

***** 北陸電力からののお知らせ *****

志賀原子力発電所1号機における「ウラン燃料のリサイクル(プルサーマル)」の実施について

北陸電力は、志賀原子力発電所1号機における「ウラン燃料のリサイクル(プルサーマル)」の実施について、去る6月28日、安全協定に基づく協議の開始を石川県、志賀町に申し入れしました。

「ウラン燃料のリサイクル(プルサーマル)」とは、原子力発電所で使い終わったウラン燃料から、まだ使えるウランとプルトニウムを回収し、ウラン・プルトニウム混合燃料(MOX燃料)として、再び原子力発電所で利用することをいいます。

資源を持たない日本にとって、将来にわたり安定してエネルギーを確保していくためには、原子力発電を推進するとともに、ウラン燃料を有効に利用する「ウラン燃料のリサイクル(プルサーマル)」が必要です。

日本では既に、九州電力の玄海原子力発電所3号機と四国電力の伊方発電所3号機で「ウラン燃料のリサイクル(プルサーマル)」を実施しています。また海外での実績も豊富です。

北陸電力は、本計画について、皆さまにご理解とご安心をいただけるよう、わかりやすい説明に努めるとともに、安全を最優先に取り組んでまいります。

※詳細は同封のパンフレットをご覧ください。

事務局変更について

7月から、当会の事務局は、「本店地域広報部」から「富山支店総務部」に変更になりました。

会員の皆さまには、環境やエネルギーについて、さらにご理解を深めていただけるような研修会や見学会などをご案内していきたいと考えております。

新事務局の三人です。
よろしくお願いたします!



西岡 金山 宮西
(総務地域チーム統括)

☆お問い合わせ先☆ (住所・電話番号・FAXも変更になりました)

「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」

(事務局) 北陸電力株式会社 富山支店総務部総務地域チーム

〒930-0858 富山市牛島町13-15

TEL 076-441-3511 (代表) (内線: 5221・5227)

FAX 076-405-1252

ホームページ <http://www.toyama-enenokai.jp>

